

上海ディズニーランドがもたらす経済効果

岡山県上海事務所 担当 岡野涼子

(日中経済貿易センター上海事務所)

上海浦東国際空港から車で市内に向け、30分ほど走行すると、左手に「上海ディズニーランド」が見えてくる。

内外から開園間近と期待されている「上海ディズニーランド」は、いよいよ6月16日にランドオープンする。

その経済効果は一体どれくらいの規模なのか。現地メディア等の情報から追ってみたい。

敏感な上海株式市場

年明けの1月13日、ウォルト・ディズニー社と上海申迪集団が上海ディズニーランドランドオープン日は6月16日に決定した旨を発表するや否や、上海自由貿易試験区及び上海市に立地する企業の株価が大幅に上昇した。

年間来場者は延べ2,500万人に。

上海ディズニーランドの初期の直接投資総額は295億元であった。ウォルト・ディズニー社幹部の予測の域を越えないが、年間来場者延べ人数を2,500万人と見た場合、年間数千億元の観光消費が増えるとされている。まさにその開園が、上海に莫大な経済効果をもたらすとともに“上海ディズニーランド”関連産業として新たに数十から百件の新プロジェクトが創出されると見られている。まったく無関係のようでもあるが、上海ディズニーランドのオープニングに伴い、教育事業面にも新しい商機が発掘される。

例えば、上海市民が好機到来と見て、英語のレッスンに勤しむことが予測されており、英語塾の開講ブームが到来するとささやかれている。

ディズニー・グッズも人気沸騰か

ディズニー・グッズ中国地区本部総経理の林家文氏によると、2016年のディズニー・グッズは、主にディズニー、ピクサー、マーベル、スターウォーズの4系列商品がコアとなり、ディズニーランド内の公認グッズとしての商機到来

を担うことになろう、と語っている。ランド内でのアトラクションも内外から注目を浴びるだろうが、特に“カリブの海賊”、“アベンジャーズ”、“アナと雪の女王”が入場チケットの売り上げ牽引役となろう。いずれにしろ、これらのブランドが文具、玩具、装飾品、出版物、教育グッズなどに使用され、通常商品の3倍から5倍の価格で販売されると予想されている。

国泰君安証券の予測では、2016年はディズニーランドが開園することによって、内外延べ1,200万人の観光客が増加すると見られているほか、それ以降も毎年300万～500万人の観光客が増加すると言われている。

入場チケットの販売価格は300元～400元とされており、たとえ1枚300元としても年間販売総額は36億元規模となる。

開園を契機に上海全体の観光市場が賑わい、豫園商城をはじめとする古くからの観光地や施設など上海市の観光消費市場に大きなプラス効果が生じるであろう。

但し、長期にわたって収益が見込めるかどうかはあいまいな部分が多い。香港ディズニーランドの場合、他のエンターテインメント施設との競合で、一時期ほどの勢いはなくなっており、更に中国ではキャラクターを利用した販売戦略がそれほど浸透しているわけでもない。前述の世界的ヒットとなったディズニー映画関連は別として、ミッキーマウスやミニーのアニメに触れた世代は減ってきている。

家電や家具のように実体のある商品は使用を通じてそのブランド価値を高めることができるが、現物の無いサービス、特にキャラクターを利用したブランド向上には特に時代性・文化性が強く求められる。「岡山発」サービスを売り込む場合も、キャラクターの育成次第で、差がつくことが出てくるのではないだろうか。

(2016年5月)